



この一般質問の映像は
こちらから

水道事業について



田村 浪行

町 事業計画の再検討

質問

水道未普及地域解消は

問 平成29年3月に町の新水道ビジョンが作成された。

答 「重要な生活基盤の一つである水道を、住民全てに安定的に供給できるように取組み、合わせてサービスの充実に取り組めます。また、将来的に渡って継続していけるように運営に努める」とあるが、今後の拡張計画は。

答 今年度においては、寄居大久保、山中地域を実施する予定。拡張工事は、補助が今年度で終了するので、未普及地域は次年度以降、事業計画の再検討をしていく。



問

今後、水源の確保と施設の整備には、時間もかかる。財源も厳しい状況だが、井戸の整備に補助する考えは。

答

個別の補助は行っていない。一般会計との調整が必要であり、今後調査研究を行ってきたい。

少子化対策について

質問

産前産後の支援は

町 産後の不安に傾聴相談実施

問

今年の10月から、幼児教育・保育の無償化が始まり高等教育においても返済不要の給付型奨学金が大幅に拡充する。少子化は教育費の問題だけではなく、地域によって要因は様々である。産前産後のケアの充実に力を入れていくべきであるが、町の考えは。

答 子育て包括支援センターを設置し、母子手帳交付から出産まで母子保健コーディネーター、保健師が丁寧に関わり妊婦とその家族を支援している。産後についても、保険診療による赤ちゃん訪問をし、育児やその不安、悩みについて傾聴相談を実施している。

問

現在出産育児一時金として、42万円が支給されているが、病院での費用は県内平均52万5千円かかる。差額分を出産祝い金として支給できないか。

答

出産祝い金の考えはないが、平成30年度から乳幼児おむつ等購入助成制度を開始している。



※ほかに「定住対策について」の質問もしています。